

# 常に品質の向上を目指して 茶業組合は上げ茶品評会

9月19日(木)、地名の農林業センターにおいて川根茶業協同組合の主催による仕上げ茶の品評会となる「第60回川根茶品評会」が実施され、川根特選級(1万円以上)へ20点、川根の普級(4,500円以上)へ19点、川根の香級(2,500円以上)に18点あわせて57点の出品がありました。

「互評会」が実施され、町内の自園自製農家を中心に12人の生産者が参加し、生産者目線による採点を行いました。

互評会を主催した川根茶業協同組合の南理事長は「自分たちのお茶がどのように評価されているのか知ってもらえる機会としたい」と話し、生産者に茶商の好みを知らせてもらうことで、さらなる品質の向上につなげたいという考えを示しました。

静岡県茶商工業協同組合や県茶業研究センターなどから派遣された5人の審査員により、「外観」「香氣」「滋味」「水色」が審査され、部門ごとに「優等」「1等」「2等」「3等」の順位が付けられました。

参加した茶農家からは「普段見ている荒茶とは全く違う」や「一般消費者の方に参加してもらっても良いのでは」といった感想が聞かれました。また、互評会終了後には「これからの茶に対する思い」として、今後の生産や販売の方針などについて意見交換会が実施され、活発な議論が交わされました。

なお、今回の品評会の表彰式と出品茶の入札会が10月3日(水)に島田市川根町のチャリム21において行われました。

審査員からは「今年の天候不順をもともしない、素晴らしいお茶が出品された」、「各部門の上位については一つ上の等級としても通用する」との評価がありました。

また、9月24日(火)には本年度からの取り組みとして品評会の各部門上位5品を使った「生産者

## 審査結果

	特選級	誉級	香級
優等	(株)朝日園	丸藤製茶	(株)山関園製茶
1等	丸藤製茶	(株)山田園	お茶の山本園
2等(1~5席)			
1席	相藤農園	お茶の山本園	(株)山田園
2席	(株)朝日園	(株)坂本園	白瀧製茶(株)
3席	(株)山関園製茶	ほてい園茶舗	(株)朝日園
4席	なかかわね前川園	お茶の山本園	(株)山関園製茶
5席	なかかわね前川園	(有)金正園	(株)坂本園

※川根茶業共同組合は、川根本町と島田市川根町の茶商によって構成されています。



# 地名のかかしコンテスト開幕!



2年に1度の風物詩、地名のかかしコンテストが開催され、西地名の田んぼに趣向をこらした「かかし」がお目見えしました。

今回は16体のかかしがエントリーし、9月22日から11月5日までの来場者投票の結果から最優秀賞が決定されます。

かかしの設置は11月10日まで

# 寸又峡★星空★鑑賞会

10月5日(土)、「寸又峡星空プロジェクト」の一環として、星空鑑賞会が寸又峡温泉において開催されました。

この鑑賞会は、寸又峡温泉のさらなる活性化を目指し、本町の大きな魅力である「澄んだ星空」を新たな観光資源として活用する取り組みとして、今回初めて実施されたものです。

当日はおよそ200の方が来場、付近の街灯が消灯された鑑賞会の会場(中島屋ホテル跡地)では星空についての説明が行われ、目が慣れるにつれて見えてくる夜空の星に参加者たちは感嘆の声を上げていました。



三ツ星天文台のスタッフによる星の解説が行われたほか、エコティかわねのガイドと行く星空ウォーキング、星空を見ながら楽しむジビエ料理の食べ比べなど様々なイベントが行われました。